



2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 松田 明彦

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	113,395	16.3	13,611	59.8	14,426	62.6	10,661	93.0
2020年12月期第3四半期	97,488	10.0	8,519	23.2	8,874	26.5	5,523	33.2

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 15,592百万円 (337.5%) 2020年12月期第3四半期 3,563百万円 (52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	83.35	
2020年12月期第3四半期	42.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	258,052	207,259	78.5
2020年12月期	241,832	197,642	79.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 202,443百万円 2020年12月期 192,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		15.00		15.00	30.00
2021年12月期		17.00			
2021年12月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,000	15.4	18,000	45.9	19,000	45.5	13,000	59.7	102.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規、除外 1社(社名)大分ケミカル株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	128,300,000 株	2020年12月期	128,300,000 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,535,644 株	2020年12月期	196,018 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	127,924,969 株	2020年12月期3Q	130,979,127 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年9月30日まで）の各国の状況は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだ国では、春頃から経済活動の正常化への対応を始めた一方、感染者の増加によりロックダウンを余儀なくされた国もありました。また、半導体不足も加わり、サプライチェーンの混乱が生産活動に影響をおよぼすなど、世界経済は、安定せず不透明な状況が続きました。

わが国経済は、鉱工業生産は持ち直してきているものの、サプライチェーン混乱の影響を受けた自動車などの生産は足踏み状態となりました。また、緊急事態宣言の発出と延長の影響で、非製造業の一部は厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループの業績については、売上高は1,133億9千5百万円（前年同期比16.3%増収）、営業利益は136億1千1百万円（前年同期比59.8%増益）、経常利益は144億2千6百万円（前年同期比62.6%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は106億6千1百万円（前年同期比93.0%増益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

①基幹化学品事業

当セグメントは全般的な需要の回復に伴い販売が増加いたしました。電解製品は、一部の分野では需要の回復が遅れましたが、全体として販売数量増となりました。アクリルモノマー製品は、アクリルゴムや塗料向けなどの需要が回復し、販売数量は増加しました。工業用ガスも、鉄鋼などの需要増加により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は504億6千4百万円（前年同期比18.2%増収）となりました。

営業利益は、販売数量増により、58億7千2百万円（前年同期比89.0%増益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、自動車関連製品向けの販売数量が増加しました。アクリルオリゴマーは、国内外において塗料や電子製品向けの販売数量が増加しました。高分子凝集剤は、販売事業の承継もあり増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は254億3百万円（前年同期比28.4%増収）となりました。

営業利益は、販売数量増により、40億8千8百万円（前年同期比81.8%増益）となりました。

③接着材料事業

瞬間接着剤は、家庭用は昨年並みの出荷となりましたが、工業用は自動車部品向けの需要が回復し販売数量が増加しました。機能性接着剤は、自動車部品および電子デバイス向け出荷が好調で増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は84億2千8百万円（前年同期比15.0%増収）となりました。

営業利益は、販売数量増により、7億2千9百万円（前年同期比35.7%増益）となりました。

④高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、引続き半導体向け出荷が好調で、販売数量が増加しました。無機機能材料は、電子部品向けイオン捕捉材や消臭剤の販売数量が増加しました。これらの結果、当セグメントの売上高は71億4千8百万円（前年同期比8.1%増収）となりました。

営業利益は、積極的な設備投資に伴う減価償却費等の増加がありましたが、販売数量増により、20億円（前年同期比2.7%増益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、前年並みの販売数量となり、建材・土木製品およびライフサポート製品は、販売数量が増加しました。エラストマーコンパウンド製品は、海外需要向けの出荷が好調で、販売数量が増加しました。これらの結果、当セグメントの売上高は190億8千万円（前年同期比4.2%増収）となりました。

営業利益は、管工機材製品では主要原料価格が上昇しましたが、販売製品構成差等により増益となり、ライフサポート製品とエラストマーコンパウンド製品は販売数量増による増益で、10億9千5百万円（前年同期比70.4%増益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は28億7千万円（前年同期比4.8%増収）、営業損失は1億7千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「投資有価証券」および「受取手形及び売掛金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ162億1千9百万円、6.7%増加し、2,580億5千2百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ66億2百万円、14.9%増加し、507億9千3百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ96億1千6百万円、4.9%増加し、2,072億5千9百万円となり、自己資本比率は78.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

第4四半期以降は、半導体の供給不足はしばらく続くものの、新型コロナウイルス感染症により落ち込んでいた経済活動は、少しずつ回復すると考えております。

また、原燃料価格は高騰しておりますが、すでに製品価格改定を打ち出し、対応してまいります。今後も事業環境の変化に柔軟に対応することで、収益確保に努め、当社グループの業績は、堅調に推移するものと見込んでおります。

このような前提のもと、2021年12月期通期の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、7月30日に発表いたしました通期の連結業績予想を据え置き、業績予想の変更が必要と判断された時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,564	48,614
受取手形及び売掛金	39,757	45,553
有価証券	25,000	23,000
たな卸資産	17,094	18,792
その他	996	3,447
貸倒引当金	△36	△44
流動資産合計	131,376	139,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,661	27,679
機械装置及び運搬具（純額）	25,919	27,113
土地	17,679	17,866
その他（純額）	10,041	6,949
有形固定資産合計	78,301	79,609
無形固定資産	783	1,654
投資その他の資産		
投資有価証券	26,844	32,662
退職給付に係る資産	2,441	2,647
その他	2,099	2,126
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	31,370	37,423
固定資産合計	110,456	118,687
資産合計	241,832	258,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,130	16,211
短期借入金	6,903	6,887
未払法人税等	1,618	2,241
引当金	15	783
その他	12,670	12,074
流動負債合計	33,337	38,198
固定負債		
長期借入金	4,473	4,400
退職給付に係る負債	151	147
その他	6,228	8,047
固定負債合計	10,852	12,594
負債合計	44,190	50,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,046	15,067
利益剰余金	147,893	154,454
自己株式	△207	△1,918
株主資本合計	183,619	188,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,891	11,928
為替換算調整勘定	1,287	1,920
退職給付に係る調整累計額	86	103
その他の包括利益累計額合計	9,265	13,952
非支配株主持分	4,757	4,816
純資産合計	197,642	207,259
負債純資産合計	241,832	258,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	97,488	113,395
売上原価	69,936	79,629
売上総利益	27,552	33,765
販売費及び一般管理費	19,033	20,154
営業利益	8,519	13,611
営業外収益		
受取利息	46	25
受取配当金	522	646
持分法による投資利益	163	138
固定資産賃貸料	219	198
その他	143	233
営業外収益合計	1,094	1,242
営業外費用		
支払利息	70	71
為替差損	481	152
環境整備費	87	65
遊休設備費	24	25
その他	75	112
営業外費用合計	739	426
経常利益	8,874	14,426
特別利益		
投資有価証券売却益	44	690
補助金収入	—	26
特別利益合計	44	716
特別損失		
固定資産処分損	287	303
投資有価証券評価損	389	—
特別損失合計	677	303
税金等調整前四半期純利益	8,242	14,839
法人税等	2,541	3,985
四半期純利益	5,700	10,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	176	191
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,523	10,661

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	5,700	10,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,914	4,039
為替換算調整勘定	△252	680
退職給付に係る調整額	30	17
その他の包括利益合計	△2,136	4,738
四半期包括利益	3,563	15,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,382	15,348
非支配株主に係る四半期包括利益	181	243

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づく自己株式1,422,200株の取得などを行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間にて自己株式が1,710百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,918百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	42,710	19,788	7,329	6,610	18,311	94,750	2,738	97,488	—	97,488
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,608	925	54	51	16	3,655	1,098	4,754	△4,754	—
計	45,319	20,713	7,383	6,661	18,327	98,405	3,836	102,242	△4,754	97,488
セグメント利益	3,107	2,249	537	1,947	642	8,484	19	8,503	15	8,519

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	50,464	25,403	8,428	7,148	19,080	110,525	2,870	113,395	—	113,395
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,684	1,021	66	131	177	4,081	1,089	5,170	△5,170	—
計	53,148	26,425	8,495	7,279	19,257	114,606	3,959	118,566	△5,170	113,395
セグメント利益	5,872	4,088	729	2,000	1,095	13,786	△178	13,607	4	13,611

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。